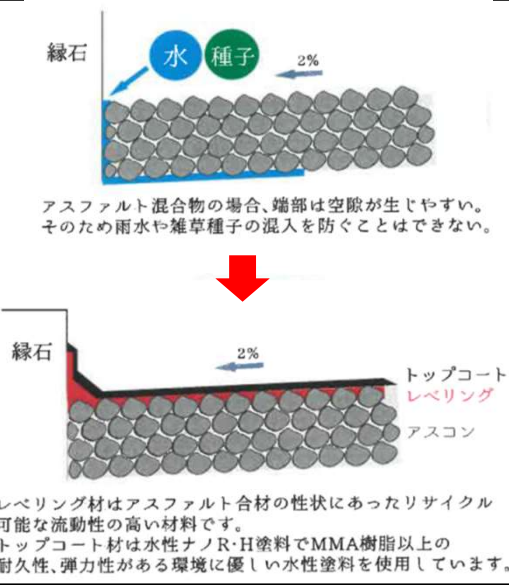
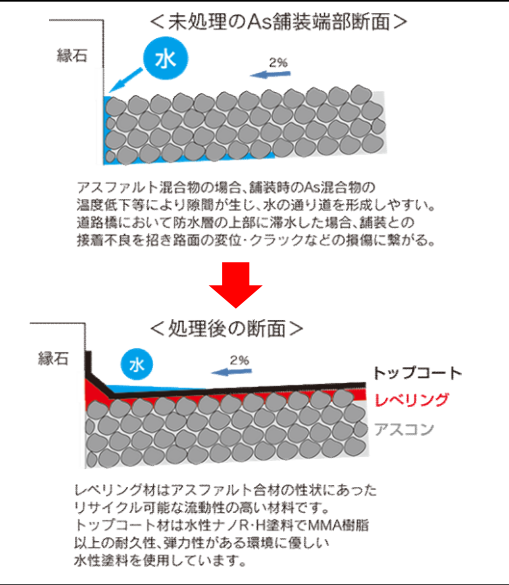
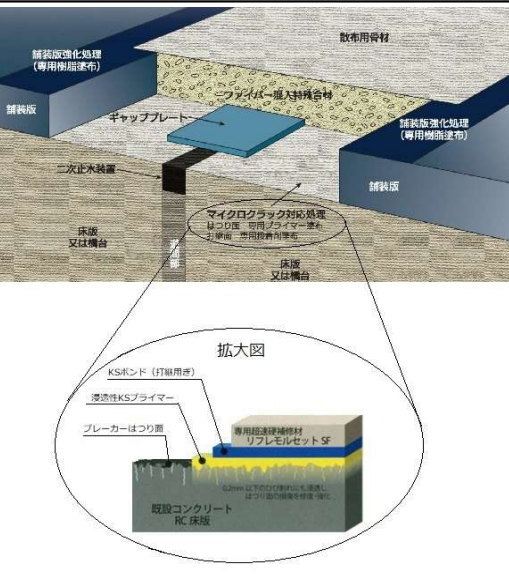
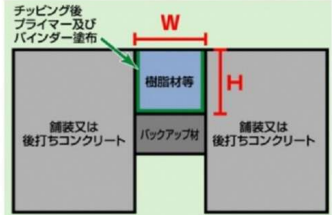
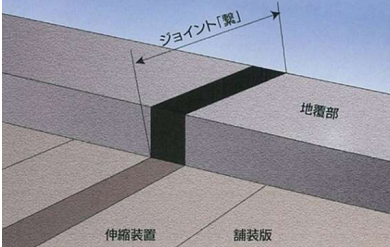
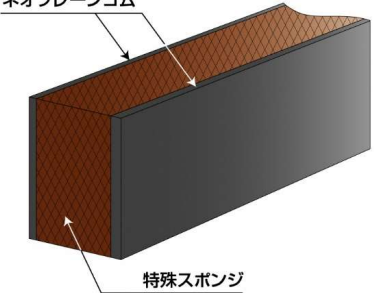
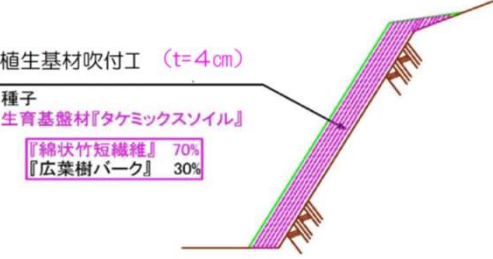
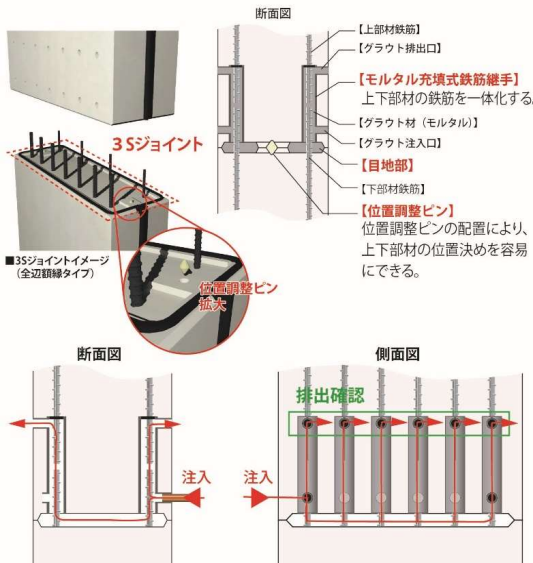


工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号 18029	（工法説明） ・アスファルト舗装とコンクリート境界ブロック等による境界部・隙間から発生する雑草を抑制する技術。 （特徴） ・縁石境界部を密封することにより、常に乾燥状態が継続され光も遮断するため、雑草の種子の発芽が抑制される。 ・長期間のメンテナンスフリーが確保できるので、維持管理費の低減を図ることができる。 （効果） ・品質、経済性、安全性、環境、県産資材活用	 アスファルト混合物の場合、端部は空隙が生じやすい。そのため雨水や雑草種子の混入を防ぐことはできない。 レベリング材はアスファルト合材の性状にあったリサイクル可能な流動性の高い材料です。トップコート材は水性ナノR・H塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。
登録番号 19031	（工法説明） ・道路橋舗装面において地覆コンクリートと舗装との境界隙間からの雨水侵入をレベリング材（流動性及び防水性の高い材料）と、トップコート材（水性防水塗料）を塗布することにより抑制し、耐久性の向上を計る技術工法である。 （特徴） ・橋梁の舗装端部から侵入する降雨水を遮断する工法である。 （効果） ・品質、環境、県産資材活用	 ＜未処理のAs舗装端部断面＞ アスファルト混合物の場合、舗装時のAs混合物の温度低下等により隙間が生じ、水の通り道を形成しやすい。道路橋において防水層の上部に滞水した場合、舗装との接着不良を招き路面の変位・クラックなどの損傷に繋がる。 ＜処理後の断面＞ レベリング材はアスファルト合材の性状にあったリサイクル可能な流動性の高い材料です。トップコート材は水性ナノR・H塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。
登録番号 19032	（工法説明） ・橋梁用伸縮継手装置において、脆弱化した床版クラック部の補修を兼ね備えた、埋設ジョイントである。 （特徴） ・従来の埋設ジョイント（舗装厚内型）に比べ、床版に発生したマイクロクラックの補修を浸透性KSプライマーで行い、伸縮性がある特殊合材に化学繊維を配合し舗設することにより、埋設ジョイントの耐久性の向上につながる。 （効果） ・品質、耐久性、県産資材活用	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号 19033	（工法説明） ・橋梁用伸縮継手工事において、劣化した伸縮ゴム部を撤去後、樹脂で充填する工法である。 （特徴） ・従来の伸縮継手工事に比べて伸縮ゴム部分のみの補修で可能な為、施工時間の短縮が図ることができる。 （効果） ・工程、経済性、安全性、施工性、環境	 
登録番号 19034	（工法説明） ・橋梁の地覆隙間部からの雨水などの侵入防止を目的とした隙間止水材である。 （特徴） ・スポンジゴムとネオプレンゴムの3層構造の止水材 ・復元性が高く既設コンクリートの追従性に優れる。 ・接着剤で固定するのみであるため、施工効率が向上する。 ・紫外線劣化に強く耐久性に優れる。 （効果） ・工程、品質、経済性、施工性、耐久性	 
登録番号 19035	（工法説明） ・ラス張工、接合剤を使用せず、『綿状生竹繊維』により造成された緑化基盤により、降雨、凍結、干ばつに対する耐久性を高め、自然環境の変化に順応することで、永続的な緑化基盤が維持される法面緑化工法。 （特徴） ・ラス張工を使用しないことで吹付緑化基盤の密度が均一化され、浸食耐久性が向上した。 ・単位体積重量が軽量となり、竹繊維の噛み合わせにより厚付け可能で、ダレが少なくなる。 ・接合剤による種子の固定が無く、種子が自由に動くため、発芽速度が速くなる。 （効果） ・工程、品質・出来形、経済性、安全性、施工性、耐久性、環境、県産資材活用	 『タケミックスソイル緑化工法』 適用範囲：吹付厚さ t=3-10cm 法面勾配 1：0.5より緩斜面 法高 法面垂直高さ80m以下

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明) ・老朽化したモルタル・コンクリート面を生かし、表面保護を行うことにより延命化させることができる保護工法。	
20036	(特徴) ・小型専用機械施工を可能としたことにより、安定した材料の供給ができ、広範囲に吹付保護が可能となる。 ・全面を被覆することで、劣化原因となる水の浸入等を防止できる。 ・既設モルタル面の剥ぎ取りを伴わないため、産業廃棄物の発生を抑制でき、経済性の向上が期待できる。	
バスク工法wide	(効果) ・工程、経済性、安全性、施工性、環境、県産資材活用	
登録番号	(工法説明) ・送水管工事(枝管設置時等)の際に発生する洗管の排水を浄化する。	
22037	(特徴) ・工事により発生する排水を、確実に一定の基準値以下に浄化することを可能とする。 ・装置は小型であり、持ち運びが容易で、使用も簡便である。	
枝管設置時の排水浄化装置「洗管クン」	(効果) ・環境	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明)	
24038	・連結目地部を各鉄筋継手(機械式継手)がつながっている特殊形状としたことで、1箇所からのモルタル注入で全ての鉄筋継手(機械式継手)への充填が可能な工法。	
3Sジョイントを用いた分割プレキャストカルバート	(特徴) ・PC鋼材の緊張により上下部材を接合していたものを、モルタル充填による接合(機械式継手)とした。 ・目地部に上下部材の位置決め用のピンを配置したことで、部材設置の際の位置決め等が容易。 ・本体断面にヒンジ構造を有しない。(カルバート指針準拠) ・1孔からの充填で、従来のPC鋼材緊張接合に比べ施工性・安全性に優れ、作業時間の短縮が可能。 (効果) ・安全性、施工性、県産資材活用	
登録番号	(工法説明)	
24039	・プレキャスト部材と鋼材で型枠を形成し、最大高さ5mまでの「重力式擁壁」を構築するハーフプレキャストを使用した技術で、型枠工等の技能者が不要であり、「重力式擁壁」を容易に構築できる工法。	
ドラゴンウォール	(特徴) ・場所打ち重力式擁壁に比べ工期短縮効果があり、勾配0（直壁）～8分までの対応。 ・狭隘な現場での施工の効率化が図られる。 ・場所打ち木製型枠が不要、廃棄物が削減され環境への影響が抑制される。 ・自立性を有する安定構造であり、連続した積み上げが可能。 (効果) ・工程短縮、品質・出来形、施工性、環境、県産資材活用	